



アビナ電化工業株式会社

所在地：東京都大田区東糞谷5丁目22番13号 創業：1946年
 資本金：1,000万円 従業員数：131人 事業概要：めっき業
 (各種素材に対する電気めっき及び無電解めっき)

- 技術志向・研究開発型企业への脱皮が必要だった。
- 女性技術者集団を中心に研究開発を加速。育成した女性技術者と、中途採用のミドル層人材の両輪で、事業展開に貢献している。また、社員の残業を減らして効率化とインプット増加を図った。

取り組み前(きっかけ)

生き残りをかけた転換

- ✓ 90年代から大手メーカーが海外へ拠点を移す中、生き残るための転換が必要となり、技術志向・研究開発型企业への脱皮を決意。
- ✓ ターゲットを国内市場とし、「ものづくりの常識を塗り替えるめっきメーカー」として高付加価値ビジネスを目指す。
- ✓ 多様な人材が高付加価値の技術を提供していくために、従来の「昭和の時代の働き方」では対応できないと判断。そのため、社員の会社以外の生活を充実させインプットを増やす必要がある、と考えた。

取り組み後(効果)

職場環境の変化

- ✓ 就業時間中に業務を効率よく終わらせる段取り力が身に付き、一部の部署を除き、ほぼ定時で退社するようになった。
- ✓ ワークライフバランスと、リケジョの活躍する企業として、企業ブランドの向上に役立っている。
- ✓ 新卒採用から育成してきた優秀な人材が、出産育児を経て定着し、また、即戦力として中途採用者したミドル人材の両方の布陣が整い、技術を生み出すスピードが加速した。

取り組み内容や仕組み

経営の取り組み

- ✓ 3代目経営者の大々的な権限移譲と組織改編を実施。
- ✓ 部門の再編成により、部門や社員個人の果たすべき役割を果たすため、目標に向かえる体制づくりを構築。
- ✓ 各部門の必要な人材の要件を明確にし、社内の人員バランスを考慮して適材適所の中途採用を実施。

女性の活躍と定着

- ✓ 研究開発部門は女性比率が約半数と高く、出産後、復職のために必要な制度についてヒアリングを実施。
- ✓ 子育て中の優秀な派遣社員を、短時間正社員として雇用し、これを機に週20時間以上勤務を制度化。
- ✓ 保育料補助、早期復帰一時金、再雇用制度など、手厚い両立支援策を講じた。

企業全体で残業を減らす取り組み

- ✓ 残業申請がない場合は、17時以降会社に残らないことをトップダウンで徹底。



同社HPより